

「朝明高校サマー教室」開催（ふくし科）

8月3日（木）、三重県立朝明高等学校にて、「親子で福祉を知ろう・体験しよう」と題してサマー教室が開催されました。当日は、小学生・保護者の方など13名が参加。本校のふくし科2年生介護福祉コースの14名の生徒たちが企画をし、準備を進めてきました。小学生の方には車いすの操作や介護のコツを学んでもらおうと校内で車いす体験を実施、保護者の方には手浴・ハンドマッサージを体験してもらいました。

そのほかにも、親子で体験できる、缶バッチ・バルーンアート作りや身近な福祉マークを知ってもらうコーナーなども生徒らが考案し、普段の学びや福祉の魅力について知ってもらうと取り組みました。

車いす体験では、普段なら気付かないような段差でも、障壁になること。普段使用している道や学校はどうなっているのか等、日常生活を振り返りバリアフリーや福祉について高校生らと一緒に考えながら体験をしてもらいました。

生徒らは今回の体験を通し、自分たちが学んでいる学習を知ってもらうよい機会となり嬉しかった。もっと若い子たちや保護者の方たちにも福祉について知ってもらいたいと感想を綴っていました。

9月2日には、本校普通科アスリートコースの生徒たちによる「少年・少女ラグビー教室」が開催される予定です。

